

活動プログラム展開案④<中学校>
「友達のトラブルを解決する方法を知ろう」

- ◆本時のねらい
 - ・友達のトラブルを解決する方法について知ることができる。
- ◆授業前の取り扱い
 - ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、生徒の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
 - ・本時の内容について配慮を要する生徒がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。
- ◆展開（本時で使用する【スライド1】～【スライド13】は、展開案の後に示しています。なお、スライド資料を使用せずに、板書することも可能です。）

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点
<p>1. 前時の学習について振り返る。 【3分】</p> <p>2. 本時のめあてを知る。 【7分】</p>	<p>【スライド1】</p> <p>○前の時間は、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。話し方のポイントは4つありましたが、覚えていますか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事実（問題）の確認をする ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する ④ 解決につながる提案をする </div> <p>○これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りの感情や怒りのコントロールの仕方について学習しました。また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、トラブルにならないような話し方について考え、練習しました。でも、トラブルが起きてしまうことは自然なことです。今日は、「友達2人の間でトラブルが起きたときにどのようにすればよいか」について学習していきます。</p> <p>【スライド2】</p> <p>○今日考えるトラブルは、皆さんの身の回りによくある場面です。佐賀県の中学生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」です。</p>	<p>・佐賀県での調査でも一番多いトラブルの場面であることを伝える。</p> <p>・ワークシートAを配付する。</p>
<p>【トラブルの場面①】</p> <p>部活動の時間に、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習している」と言って、もめています。</p>		
	<p>【スライド3】</p> <p>○部活動で、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意したが、Bさんは「真面目に練習している」と言ってAさんとBさんがもめていま</p>	

	<p>す。</p> <p>【スライド4(動画)】 ○それでは、どのような様子か動画を見てみましょう。</p> <p>○この後、どのようになると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更に言い合いになる ・他の人(同級生・キャプテン・顧問の先生)に言う ・無視する <p>【スライド5】 ○いろいろな解決方法があると思いますが、今日は、もめている2人の間にCさんが入ってトラブルを解決する方法について学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな解決法があることに気付かせる。 ・価値観の違いが原因でトラブルになっていることに触れる。
<p>【本時のめあて】 友達のトラブルを解決する方法を知ろう</p>		
<p>3. トラブル場面での解決方法を考える。 【10分】</p>	<p>【スライド6】 ○あなただったら、どのように声を掛けますか。ワークシートAの1に書きましょう。</p> <p>【スライド7(動画)】 ○間に入るCさんが、どのようなことに気を付けてAさんとBさんのトラブルを解決しているのか考えながら、動画で見てください。</p> <p>(動画視聴後)</p> <p>○トラブルを解決している様子を見て、Cさんのどのようなところが良かったか、気付いたことを発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決するために、2人の間に入ることの理解を得ていた。 ・2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させていた。 ・2人の話のポイントを繰り返して確認しながら、平等に聴いていた。 ・トラブルを解決するためのルールの確認をしていた。 ・どうしたら解決できるのか、2人に考えさせていた。 <p>○Cさんは、2人の言い分をしっかりと聴き、AさんとBさんが解決案を見付ける手助けをしていました。</p> <p>○もし、Cさんが解決案を途中で言ったとしたら、AさんやBさんはどのように思うでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に決めてほしくない ・まだ、言いたいことがあったのに 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名し、発表させる。 ・Cが介入することでもめごとが終息していく変容を理解するために、全体を通して動画を流す。 ・AやBの気持ちの変化についても考えさせ、Cの関わり方について理解を深める。 ・解決するのは当事者であり、Cは、相手を裁くという考え方で接するのではなく、両者の言い分をしっかりと聴きとめ、冷静に解決に向かうように援助していく姿勢が必要であること

<p>4. トラブル解決のポイントを確認する。 【5分】</p>	<p>○トラブルを解決するためには、Cさんのように助言したり、どのようにするべきかを教えたりせずに、AさんとBさんが解決していくことが大切です。</p> <p>【スライド8(動画)】 ○それでは、もう一度動画を見ながら確認してみましょう。</p> <p>【スライド9】 ○トラブル解決のポイントをワークシートAの2にまとめてみましょう。 トラブル解決のポイントは4つあります。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【トラブル解決のポイント】 ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く ④ 解決案を出さない ※トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p> </div>	<p>を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付かせたいトラブル解決のポイントが出てくるところで、ポイントを提示しながら確認する。 ・それぞれのポイントについて具体的にどのようにすればよいのかを全体で確認する。
<p>5. トラブル解決のポイントを使った台詞を考える。 【20分】</p>	<p>【スライド10】 ○今日考えるもう1つのトラブルも、皆さんの身の回りによくある場面です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートBを配付する。
<p>【トラブルの場面②】 放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。</p>		
<p>○2人の様子が心配になったCさんが2人に声を掛けています。</p>		
<p>【スライド11】 ○もめている状況を説明します。</p>		
<p>【もめている状況】 A：Bさん、放課後の係の仕事、行ってよ！ B：は？なんで？勝手に決めないでよ！ A：だから、今頼んでるじゃない。 B：だったら、私（僕）だって頼みたい。Aさん、行ってよ！ C：2人とも、どうしたの？ B：係の仕事で呼ばれたんだけど、この人が私（僕）に行けって言うんだ！ A：行けって言ってない。行ってほしいと頼んだのに、急に怒り出したんじゃない！</p>		
<p>【スライド12】 ○皆さんがCさんだったら、この後どのような声掛けをして間に入りますか。トラブル解決のポイン</p>		

<p>6. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p>	<p>トを使って間に入るときの台詞を考え、ワークシートBに記入しましょう。</p> <p>○1つ目のトラブルの台詞を参考にしてもよいです。</p> <p>○書き終わった人は、Cさんの台詞に印を付け、シナリオの読み方を練習しましょう。 次の授業では、このシナリオを使って練習をします。</p> <p>【スライド13】</p> <p>○学習したことを振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。</p> <p>○今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルを解決するためには、間に入る人が平等に話を聴くことが大切だと思った。 ・今日学習したトラブル解決のポイントを意識して友達の話の聴いてみたいと思った。 ・もめている人の間へ入る台詞が難しかった。 ・実際に、間に入る自信がない。 <p>○今日学習したトラブル解決のポイントは、トラブルの場面だけでなく、普段の生活の中でも生かすことができるものです。普段から、互いが意識して生活することで、トラブルが減っていくのではないかと思います。</p> <p>○次の時間は、今日考えたシナリオを使って、トラブルを解決する練習をします。自分たちでトラブルを解決できるように練習しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が書き終わったことを確認する。 ・振り返りシートを配付する。 ・数名の生徒に本時で分かったことやできるようになったことなど授業の感想を紹介させ、全体で共有する。 ・トラブル解決のポイントは、トラブルの場面だけでなく、友達とのコミュニケーションの場面でも、必要なスキルであることを学級の実態に応じて話をする。 ・次時の学習について知らせる。
--------------------------------	---	--

◆評価の視点

- ・友達の問題を解決する方法について知ることができたか。

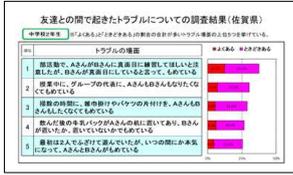
◆授業後の取り扱い

- ・生徒の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における生徒の様子を観察する。

板書計画(4時目)

【めあて】友達のトラブルを解決する方法を知ろう

【図や表など】



※導入のためのグラフや表、または前時の学習で使用した資料などを提示します。

【トラブル解決のポイント】

- ① 間に入ることを確認する
- ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ 2人の言い分をくり返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

※トラブルが解決しない場合は、大人に話す

※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に生徒からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。

【トラブルの場面のシナリオ】



※生徒が身近なこととして捉えることができるように、生徒が普段使っている言葉に直して提示します。

【学習後の感想】

- ・
- ・
- ・
- ・

※学習を振り返って気付きや感想を出してもらい、「・」などで示します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

話し方のポイント

「国語の発表者を決めないといけないよね」 → ① 事実(問題)の確認をする

「この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいたんだけど」 → ② 自分の気持ちを伝える

「よかったら、Bに国語の発表をやってもらいたいなあ」 → ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する

「発表の原稿づくりだったら、手伝うよ。」 → ④ 解決につながる提案をする

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。話し方のポイントは4つありましたが、覚えていますか。

- ① 事実(問題)の確認をする
- ② 自分の気持ちを伝える
- ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④ 解決につながる提案をする

でした。
 これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りの感情や怒りのコントロールの仕方について学習しました。
 また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、
 トラブルにならないような話し方について考え、練習しました。
 でも、トラブルが起きてしまうことは自然なことです。
 今日、「友達2人の中でトラブルが起きたときに、どのようにすればよいか」について学習していきます。

【スライド2】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

今日考えるトラブルは、皆さんの身の回りによくある場面です。佐賀県の中学生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」です。
 ●第1位は、「部活動で、AさんがBさんに・・・(※読み上げる)」でした。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド3】

トラブルの場面①

部活動の時間に、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習をしている」と言ってもめています。



Bさん



Aさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

部活動で、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習をしている」と言ってAさんとBさんがもめています。

【スライド4(動画)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

それでは、どのような様子か動画を見てみましょう。

その後、どのようになるとと思いますか。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド5】

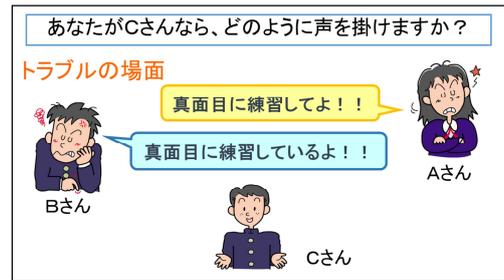


【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

いろいろな解決方法があると思いますが、今日は、もめている2人の間にCさんが入ってトラブルを解決する方法について学習します。

今日のめあては、友達のトラブルを解決する方法を知ろうです。

【スライド6】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

あなただったら、どのように声を掛けますか。
ワークシートAの1に書きましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド7(動画)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

間に入るCさんが、どのようなことに気を付けてAさんとBさんのトラブルを解決しているのか考えながら、動画で見てください。

(動画視聴後)
トラブルを解決している様子を見て、Cさんのどのようなところが良かったか、気付いたことを発表してください。

Cさんは、2人の言い分をしっかりと聴き、AさんとBさんが解決案を見付ける手助けをしていました。
もし、Cさんが解決案を途中で言ったとしたら、AさんやBさんはどのように思うでしょうか。

トラブルを解決するためには、Cさんのように助言したり、どのようにするべきかを教えたりせずに、AさんとBさんが解決していくことが大切です。

【スライド8(動画)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

それでは、もう一度動画を見ながら確認してみましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド9】

トラブル解決のポイント

- ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する
- ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない
※ トラブルが解決しない場合は、大人に話す

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブル解決のポイントをワークシートAの2にまとめてみましょう。
トラブル解決のポイントは4つあります。

- ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する
- ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

です。

また、トラブルが解決しない場合は、大人に話すことも大切です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド10】

トラブルの場面②

放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、
AさんもBさんも行きたくなくてもめています。



Aさん



Cさん



Bさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日考えるもう1つのトラブルも、皆さんの身の回りによくある場面です。
放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。
2人の様子が心配になったCさんが、2人に声を掛けています。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド11】

A: Bさん、放課後の係の仕事、行ってよ！
B: は？ なんで？ 勝手に決めないでよ！！
A: だから、今、頼んでるじゃない。
B: だったら、私だって頼みたい。Aさん、行ってよ！
C: 2人とも、どうしたの？
B: 係の仕事で呼ばれたんだけど、この人が私に行けて言うんだ！
A: 行けて言っていない。
行ってほしいと頼んだのに、急に怒りだしたんじゃない！

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

もめている状況を説明します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド12】

Cさんの台詞を考えましょう

- ① 間に入ることを確認する
「もめごとを解決したいと思うんだけど、
ちょっと話に入らせてもらっていいかな」
- ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる
「話を聴かせてもらう前に、相手の話を最後まで聴くという
ルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？」
- ③ くり返しながら平等に聴く
「〇〇〇ということだね。Bさん、どうですか？」

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

皆さんがCさんだったら、この後どのような声掛けをして間に入りますか。
トラブル解決のポイントを使って間に入る時の台詞を考え、ワークシートBに
記入しましょう。

1つ目のトラブルの台詞を参考にしてもよいです。
書き終わった人は、Cさんの台詞に印を付け、シナリオの読み方を練習しましょう。
次の授業では、このシナリオを使って練習をします。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド13】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

学習したことを振り返ります。
振り返りシートに記入しましょう。

今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。

今日学習したトラブル解決のポイントは、トラブルの場面だけでなく、普段の生活の中でも生かすことができるものです。
普段から、互いが意識して生活することで、トラブルが減っていくのではないかと思います。

次の時間は、今日考えたシナリオを使って、トラブルを解決する練習をします。
自分たちでトラブルを解決できるように練習しましょう。